



RAKUWA
lecture of health

第123回 らくわ健康教室

2012年11月9日



手術で改善！正常圧水頭症

洛和会音羽病院 正常圧水頭症センター 所長 いしかわ まさつね
脳神経外科 兼務 石川 正恒



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院



RAKUWA
lecture of health

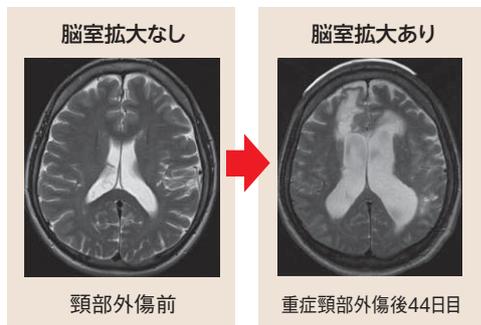
第123回 らくわ健康教室 2012年11月9日

手術で改善！ 正常圧水頭症

正常圧水頭症とは？

「正常圧水頭症（NPH）」とは、脳や脊髄にある「脳脊髄液（髄液）」の吸収が悪くなって脳を中心に髄液がたまり、脳を圧迫して脳の機能低下が起こる病気です。原因不明のものは「特発性正常圧水頭症（iNPH）」と呼ばれ、現在のところ、この病気が起こる原因は明らかにされていません。

何かの原因で髄液の流れや吸収が障害されると、脳室に髄液がたまって脳室が拡大する。



- 70～80歳の方に多くみられます。
- 歩行障害、排尿障害、認知障害などの症状が現れます。
- 早く気付いて治療を受ければ、回復が期待できる病気です。
- 病気が疑われるときは、神経内科・脳神経外科・精神科などを早めに受診することが大切です。

症状について

歩行障害

患者さまの
およそ**90%**にみられます



特徴

小刻みに歩く、すり足になる、開脚→転倒しやすくなる、いすから起立するのに時間がかかる、方向転換がしづらいなど。

正常圧水頭症の歩行障害では、「小刻み」「すり足」「開脚」が特徴です。足が左右に広がって外を向き、歩幅が狭くなると不安定で転倒しやすくなります。

歩き方の違い



排尿障害

患者さまの
およそ**60%**にみられます



特徴

頻尿、急に尿意を覚える、トイレに間に合わない、尿もれなど。



認知障害

患者さまの
およそ**80%**にみられます

特徴

物忘れ、やる気の低下、
作業に時間がかかるなど。



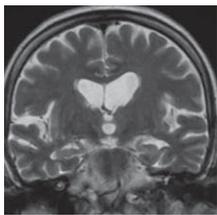
診断について

この病気の診断は、症状の確認と画像検査で行われます。症状と画像検査から、正常圧水頭症が疑われる場合は「タップテスト」^{*}が行われることもあります。

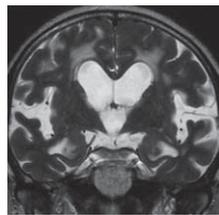
画像検査

MRIによるiNPHと脳萎縮の比較

脳萎縮

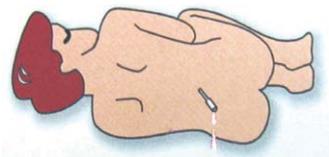


正常圧水頭症



Kitagaki H, et.: AJNR 1998

※**タップテスト**…腰椎に針を刺し、30ml程度の髄液を採取し、症状が改善するかどうかをみる検査です。髄液は、脳と脊髄を覆っているクモ膜の中を流れているため、腰椎から髄液を抜き取れば、脳室の髄液も減少して、症状が一時的に改善することが期待できます。



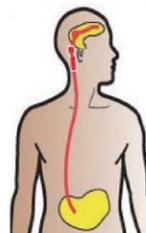
治療について

髄液シャント術

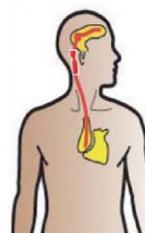
脳室の中心にたまった髄液を腹腔に排出するために、2mmほどの細い管を体内に埋め込み、髄液を腹腔に導きます。主な経路は次のとおりです。

手術 髄液シャント術

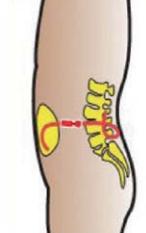
脳室～腹腔シャント
(V-Pシャント)



脳室～心房シャント
(V-Aシャント)



腰椎～腹腔シャント
(L-Pシャント)



- 1時間程度の手術
- 脳外科の基本的な手術
- 日本では年間15,000件ほど手術されている
- iNPHの手術は約1割
- 2～3週間の入院（術後の圧調整も含めて）

脳室～腹腔シャントが標準治療ですが、最近では腰椎～腹腔シャントも行われます。



脳室～腹腔シャント

脳室から腹腔へ管を通す方法です。脳神経外科の領域では、患者さまの負担は比較的軽い手術といえますが、頭蓋骨に穴を開ける必要があります。高齢の方では手術が可能かどうか、入念なチェックが必要になります。この方法は長年行われてきた実績があり、標準的治療となっています。

腰椎～腹腔シャント

タップテストがよく行われるようになってきたため、手術でも、腰椎から腹腔へ管を通す方法が行われるようになってきました。この方法では、頭蓋骨に穴を開ける必要はありませんが、腰椎の骨と骨の間が狭い場合など、患者さまによっては、行うのが難しい場合もあります。

覚えておいて いただきたい ポイント



- 「正常圧水頭症」の症状は、「歩行障害」「排尿障害」「認知障害」など。
- 症状があっても、「年のせい」などと考え、見逃しやすい。
- 早く見つけて手術を受ければ、改善が期待できる。



専門分野

特発性正常圧水頭症、脳神経外科(特に脳腫瘍)、顔面けいれん、三叉神経痛、高齢者の水頭症

専門医認定 ・資格など

- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
- 日本脊髄外科学会認定医
- 特発性正常圧水頭症診療ガイドライン作成委員長
- 特発性正常圧水頭症全国共同研究主任研究者
- 京都大学医学部臨床教授
- 第4回国際水頭症髄液疾患学会会長
- 臨床研修指導医